

# 第一中学校・中野富士見中学校 第5号

## 統合委員会ニュース

発行：第一中学校・中野富士見中学校統合委員会

このお知らせは、「第一中学校・中野富士見中学校統合委員会」における協議の状況などを地域の皆様にお知らせするために発行しています。

今号では、11月14日に開催された第5回統合委員会での協議内容についてお知らせします。

### 統合新校のあり方について協議しました

新校をどのような学校にしていくかなど、教育そのものにかかわる内容は、第一・中野富士見の

両中学校長が協議し決定しますが、統合委員会では、その内容に地域や保護者などの声を生かすため「統合新校のあり方」について協議を進めています。今回の統合委員会では、前号でお知らせした「統合新校に望むこと」のアンケート結果などを踏まえ、両中学校長が協議し作成した「統合新校の目指す学校像・生徒像」について学校から説明を受けました。内容は次のとおりです。

望ましい学校規模を生かした「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」をつくるために以下の学校像・生徒像を掲げる。

#### <学校像>

- ・ 生徒の誰もが楽しく学び、一人ひとりの生徒に応じた多様な授業展開によって、確かな学力と生きる力をはぐくむことができる魅力ある学校
- ・ 生徒たちと教職員が、豊かな人間関係の中で、ともに生き生きと活動できる活力ある学校
- ・ 地域に開かれ、家庭や地域との多岐にわたる連携・協力を推進し、生徒・保護者・地域から信頼される学校

#### <生徒像>

- ・ 基礎・基本の学力を確実に身に付け、教養をさらに高めていく生徒
- ・ 自ら考え主体的に行動できる生徒
- ・ 倫理観・正義感をもち社会における基本的なルールを身に付けた生徒
- ・ 生命や人権を尊重し、思いやりのある心豊かな生徒
- ・ 生徒同士がお互いのよさを認め合い、切磋琢磨しながら自らを向上させていく生徒
- ・ 体力の向上につとめ、心身ともに健全な生徒
- ・ 学校・地域文化を愛し、社会や公共の福祉のために積極的に貢献する生徒

この内容を踏まえ協議を行い、委員から主に次のような意見が出されました。

- ・ 地域の方々が授業の補助や学校運営に日常的にかかわっている学校がある。このようなコミュニティスクール的な学校づくりは考えていないのか。
- ・ 内容が漠然としている。教育内容を示すより、小学校の保護者にもわかりやすいように、もっと見える部分でアピールした方がよい。
- ・ 案をもとに意見を出し合い、その内容を絞り込み、具体的なものを作っていければよいと思う。
- ・ 生徒像の中に、先生を尊敬するなどの文言を入れるべきだ。

- ・ 建学精神的な事柄になると多様な意見が出てくると思うが、その実践は難しい。新校のあり方としては、現実的にできる話になってくると思う。
- ◆ これらの意見を踏まえ、さらに学校間で検討を進め、次々回の統合委員会でさらに協議を行うことになりました。

## 校名の検討を進めています

統合委員会では、前号でお知らせした校名の募集結果（延べ330件、132の校名の応募）などをもとに、統合新校の校名について検討を進めています。

前回の統合委員会の後、応募のあった校名の中から、各委員が新しい学校名としてふさわしいと思ったものを3候補以内で選んだ結果、校名の候補は31になりました。今回の統合委員会では、この31の校名をどのように絞り込んでいくかなどについて協議を行い、委員から主に次のような意見が出されました。

- ・ 愛着のある、「両校の校名（第一・富士見）」を残すものと、どの地域にある学校かイメージできる「地名」を残すものにと絞って考えてはどうか。
- ・ 絞り込みの方法は、先行している統合委員会で考えた次の方法でよいのではないか。

次に該当するものは、校名候補から外す ① 常用漢字表にない漢字を使用しているもの  
 ② 通常の読み方と異なる読み方をするもの ③ すべてがひらがなであるもの  
 ④ 仮名から漢字を容易に連想できないもの ⑤ 人名を連想させるもの ⑥ 数字であるもの

- ・ 両校の校名を残すと、どちらの校名を前に出すのかといった議論や複雑な気持ちが出てくる。新しい学校をつくるならば、校名を残すという考え方はあえてとらない方がよいと思う。
- ・ 校名の検討過程で意見が容易にまとまらず、2つの校名をそのままつなげた校名とした例がある。このような校名となった場合、後々、苦勞のあった経過が想像されてしまうので避けた方がよいと思う。
- ・ 読みづらい漢字の使用、様々な読み方ができるもの、都内に同一校名がある校名は避けた方がよい。
- ・ 学区域の中で皆が同じ自分の地域と思える名前がよい。
- ・ 各委員が3つの候補を選んだ際に、多くの委員が選んだ校名は、委員の思い入れも強く、他の学校や他区から見てもわかりやすいと思う。
- ・ 校名の検討は、かなり早く進んでいるので、絞り込みも次回行えばよいのではないか。
- ◆ 協議の結果、今回は絞り込みをせず、次回継続して検討することになりました。また、校名の公表については、さらに絞り込んだ段階で行うこととしました。

## 標準服の検討が進んでいます

標準服については、「標準服検討部会」が発足し、精力的に検討を進めています。今回の統合委員会では、10月22日に開催した標準服検討部会（第1回）の検討状況（途中経過）について、部会長から報告を受けました。主な報告内容は次のとおりです。



- ・ 部会員の中から互選により、部会長に秋元宏之さんを、副部会長に宮沢久之さんを選出。
- ・ 「部会と標準服の事業者との関係」「事業者の条件」などについて次のとおり確認。

- ① 部会として、最終的に 1 社に事業者が選定されるまで、特定の事業者との個別調整はできない。
- ② 事業者の条件は、同じ規格の標準服を安定的に納品できることやある程度のサイズ直しへの対応が可能など、アフターフォローもできることが条件となる。
- ③ コンセプト以外の内容について事業者に提案を求めるのは難しい。
- ④ 事業者の最終選定は統合委員会が行う。標準服の支給にかかる契約は、区が選定された事業者（メーカー）が提案する製品の内容を指定し入札を行う。事業者（メーカー）は、落札した納入業者（販売店等）に納品することになる。

- ・ スケジュール等について次のとおり確認。しかし、事業者からのプレゼンテーションの方法が、展示見本による方法から、イラスト等を提出させる書類審査で行うこととしたため、スケジュールについては再調整することとなった。
- ・ 標準服の事業者に提案を求めるためのコンセプトについて協議し、次のとおり確認。

【基本コンセプト】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統合新校にふさわしい、学校に誇りが持てる、子どもたちにとって魅力的なものとする。</li> </ul>
【形式】	<p>&lt;女子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上着は襟なしの上着又はプレザーとし、色はダークトーンのものとする。</li> <li>・ 襟なしの上着には、セーラーカラーのシャツをあわせたものも提案する。</li> <li>・ スカートは、チェック柄のものとする。</li> <li>・ シャツにはリボン・ネクタイ等をつけ、バリエーションを楽しめるものとする。</li> <li>・ ズボンも選べるようにする。</li> </ul> <p>&lt;男子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上着はマオカラー、プレザー又は襟なしの上着とし、色はダークトーンのものとする。</li> <li>・ マオカラーを除き、ネクタイ等を着用し、バリエーションを楽しめるものとする。</li> </ul> <p>&lt;男女共通&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シャツは白を基本とし、形（ポロシャツ、ボタンダウンシャツなど）は提案とする。</li> <li>・ 価格は、冬服上下（リボン・ネクタイ等込み）で 25,000 円(消費税込み)前後とする。また、夏服のズボン（男子用・女子用）、スカートの価格を提示する。</li> <li>・ 夏服のズボン、スカートは、冬服と共通のデザインとする。</li> </ul>
【その他の仕様】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭の洗濯機で洗濯ができるものとする。</li> <li>・ 素材について、アレルギーへの対応を考慮したものがあれば提案する。</li> <li>・ 一定程度の体格の向上には簡易な補修で対応できるようにする。簡易な補修等の方法その他アフターサービスの内容については、提案による。</li> </ul>
【販売等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少なくとも統合新校の通学区域若しくはその近傍で購入できることとする。新入学時及びその他の時期のそれぞれにおける販売方法の考え方を示す。</li> </ul>
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統合新校開校時の 2・3 年生については、区が公費で標準服を購入する予定であり、その際、中野区の入札参加資格者（物品）から購入するため、当該参加資格者が取り扱えることを要する。</li> </ul>

- ◆ 標準服検討部会において、さらに新しい標準服制定の作業を進めていただき、次回統合委員会で、また検討状況の報告を受けることになりました。

## そ の 他

委員から、中野富士見中学校の現状を各委員に伝えたい旨申し出があり、これを受けました。その概要は次のとおりです。

- ・ 小学校の保護者から「中野富士見中に子どもを通わせたいが、入学時に何人生徒がいるのかといった不安がある」との声を聞いた。また、指定校変更が簡単にできるとの噂が広がっており、問題だと思っている。

この話を受け、事務局（教育委員会）から次のような発言がありました。

- ・ 円滑な再編に向け、今年度と変わらず、来年度についても全力をあげて学校を支援していく。
- ・ 指定校変更の申請があった場合は、保護者に疑義をもたれないよう、判断をより慎重にしていきたいと考えている。
- ・ 第一中学校、中野富士見中学校のPRとして、例えば、中学校の生徒や保護者が小学校の催しに出向き、話をしたり、いっしょに活動したりできればとも考えている。小学校の校長にも依頼していくので、皆さんのご協力もお願いしたい。

また、他の委員から次のような発言がありました。

- ・ 教育委員会はもとより、学校や地域からも「学区域を守りましょう」という強いアピールを、保護者の方へ伝えていくべきだ。



第一中学校・中野富士見中学校統合委員会ニュース 第 5 号  
編集・発行：第一中学校・中野富士見中学校統合委員会  
事務局：中野区教育委員会事務局教育改革担当  
TEL:03-3228-5548 FAX:03-3228-5679

※ 統合委員会の会議要録は、区役所 1 階区政資料センターもしくは教育委員会ホームページでご覧になれます。

＜次回開催予定＞  
●標準服検討部会（第 3 回）  
1 月 11 日（金）  
●統合委員会（第 6 回）  
1 月 22 日（火）  
いずれも午後 7 時から  
南中野地域センターで